



南砺市「協働のまちづくりモデル事業」

NPO・ボランティアグループ等の市民団体 事例集

◆協働のまちづくりモデル事業とは

南砺市が進めている市民と行政による「協働のまちづくり」の実現に向けては、自ら考え、自ら行動する住民組織の存在が不可欠です。

この事業では、平成 21 年度から住民に最も身近な集落、町内会や自治会において、自ら実践する地域づくりの機運を高め、住民自治活動の充実強化を図るため、市が支援してきました。また、平成 23 年度からは市民団体の皆さんによって実施される事業に対しても支援をしています。

◆対象団体等

市内に事務所及び活動場所を有するNPO、ボランティアグループなどの、市民団体を対象。ただし、次の3つの要件を満たしていなければなりません。

- ①5人以上の会員で組織していること
- ②組織の運営に関する規則があること
- ③予算及び決算を適正に行っていること

◆事業の内容

特定の地域や会員に限らず、広く市民を対象として、新たな公共の分野で展開する地域づくり活動の実践に、最長で3ヶ年、各年80%補助で上限30万円を助成します。

※なお、「単年度事業枠」もあります。

◆対象事業

支援対象事業は次の7項目のいずれかをテーマとして、ア～ウに該当する事業です。

注意点として、他の補助事業と会計が明確に分けられる事業とします。また、従来から実施している事業は対象外ですが、新たな事業及び既存事業の拡充となるものは対象となります。

[事業テーマ]

- (1) 集落の防犯、防災、福祉など、「安心・安全な地域社会形成事業」
- (2) 地域資源を活かしたコミュニティビジネスなどの「産業振興事業」
- (3) 伝統文化の保全や復活などの「文化振興事業」
- (4) 少子高齢化の対策に向けた「定住等促進事業」
- (5) 地域資源を活かした「まちづくり事業」
- (6) 環境保全、美化、エコなどの「地球にやさしいまちづくり事業」
- (7) その他、「地域の活性化を図る事業」

また、下記に該当すると市長が認める事業を実施するものとします。

[対象事業]

- ア. 公益的、社会貢献的な事業（地域課題や社会的課題の解決が図られる事業）
- イ. 市民満足度が高まる事業（具体的な効果や成果が期待できる事業）
- ウ. 先進性、先駆性のある事業（工夫やアイデアがあり、新しい取り組みの事業）

事例1 よみがえる『塩硝の道』プロジェクト

(塩硝の道広域研究会)

加賀藩時代に火薬の原料となった五箇山産の塩硝を金沢まで運んだ「塩硝の道」の再現に取り組んでいます。今後平成26年度末に予定されている北陸新幹線開業を見据えた広域観光事業として具体化を図ります。



ルートの現場踏査及び環境整備



塩硝の道広域研究会設立総会

団体の概要：太美山自治振興会と、「塩硝の道」において交流のあった団体（金沢市崎浦公民館、湯涌地区塩硝研究会、刀利会、五箇山自然文化研究会）とが広域連携組織として「塩硝の道広域研究会」を設立した。

事業の内容：主な塩硝生産地（上平西赤尾）、塩硝運搬ルート（五箇山～刀利～湯涌～涌波）、塩硝蔵（金沢市土清水）、そして福光射撃練習場の拠点を結び、塩硝の生産・運搬・火薬製造そして射撃までの過程を現代において再現することを目標に、「体験」「学習」「交流」の3つの言葉をキーワードとし、環境整備と観光事業化調査を通じて活性化しようとするプロジェクト。

計画期間	実施内容および実施予定
H24 年度	ルートの現場踏査及び環境整備、塩硝の道広域研究会設立総会
H25 年度	トレッキングツアーの実施及び観光事業化調査
H26 年度	塩硝火薬の試験生産及びイベント実施の検討

事例2 GO！三つのあがりをもった東太美の宝に！！

(東太美子ども声かけ隊)

モデル事業採択前の平成22年度までは、夏休みこども教室12回、親子自然体験事業4回、世代間交流事業2回を行ってきたが、振替休業日や長期休業時も夏休みと同様に、また放課後学童保育もぜひ実施してほしいとの要望が強くなり、平成23年度よりモデル事業の採択を受け東太美公民館にて実施している。



事業の内容：福光南部小学校には放課後児童クラブがなく、働く親達が数年前から自治振興会やPTA、旧福光町、南砺市へ現状を訴え働きかけていたが抜本的な対策が進まなかった。そこで「東太美子ども声かけ隊」のメンバーが中心となり、次世代を担う青少年の育成のために、またより良い地域の環境づくりのために事業を開始した。平成24年度は事業のある日の学童保育198日、振替休業日子ども教室6日、長期休業時子ども教室等24日の計228日実施した。

事例3 「作品ファンのもう一つのふるさと」南砺市プロジェクト！ （「真実の涙をもう一度」有志会）

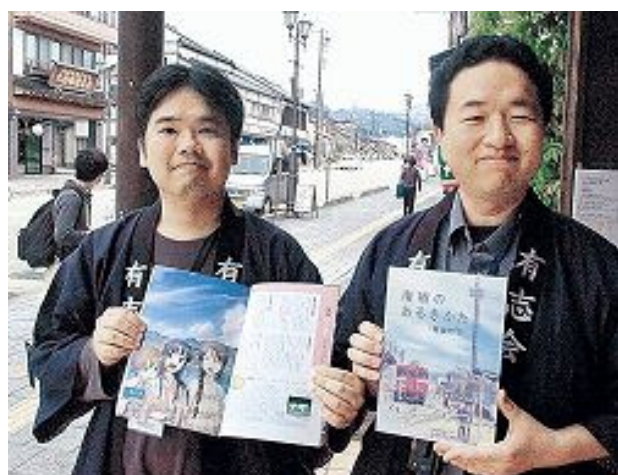
南砺市を作品舞台ファンの「もう一つのふるさと」に
～南砺市の文化・歴史・伝統を、映像作品を核に発信・発展～

団体の概要：全国に在住する、南砺市・城端を舞台にした映像作品ファンと、南砺市民との協働を推進する事業の企画、実施を行う、ファン有志の集まり。

事業の内容：南砺市、城端地域を舞台にした映像作品などを核にし、南砺市の地域・産業の活性化を図る企画を3つの柱で実現

- ・作品の舞台を訪れるファンの増加・リピーター化
- ・作品と地元特産品とのコラボレーション商品提案、作品にちなんだイベント企画・開催
- ・作品をきっかけに南砺市を知ったファンと地域住民との新しいネットワーク構築

計画期間	実施内容および実施予定
H24年度	情報誌「南砺のあるきかた～城端特集～」の製作・販売、イベント「城端春日和2012」「城端秋日和2012」の開催
H25年度	前年度イベントに加え常設スペースにおいても不定期にイベント開催。 新しい商品の企画・販売。 城端以外の南砺市域（五箇山、井波など）でも観光振興と結びつける準備。
H26年度	特産品販売などの収益で、補助に頼らないイベント開催・商品開発が可能に。 観光振興とタイアップした特産品を企画・販売。作品名などを通じた生産者同士のネットワークを構築。ファンなどとの交流も図る



協働のまちづくりモデル事業実施団体一覧(市民団体枠)

○平成23年度採択:H23～25(3か年) 全5団体

No.	地域	実施団体名	代表者名	事業名	主な活動内容
1	城端	「真実の涙をもう一度」有志会	佐古田 宗幸	「作品ファンのもう一つのふるさと」南砺市プロジェクト	南砺市を舞台とした「アニメ」を題材として、地域の魅力を発信するとともに、地域産業の活性化を促すイベントを実施する
2	福光	あんげんでおいしい野菜をつくる会	館田 宏親	あんげんでおいしい野菜づくり	学校給食の残さを利用した肥料をもとに野菜づくりを実施し、最終的に学校給食の材料とする「循環型社会」の構築を目指す
3	平	平郷土学習会	池田 美智子	絵本で伝える五箇山の記憶遺産	五箇山の文化・暮らし・産業を絵本化し、広く読み聞かせることで、子供たちの郷土愛が育まれ後世にも繋げていくこと、お年寄りにもこれからの生きる喜びに繋げていく
4	井波	仕合せ電話グループ	前川 正夫	郷土の名水や由緒伝説による生きがいづくり	故郷の名水とその伝説を調査・文書化し、読み聞かせをすることで後世に繋げ、お年寄りから若者までのいきがいにづくりに役立たせる
5	福光	東太美子ども声かけ隊	高瀬 和子	001 ミツの(あ)パワーをもった東太美の食糧にこ	福光南部小学校区には放課後学童保育が存在しないため、東太美地区独自の放課後学童保育を実施することで、子供たちの新たなよりどころを作り上げるとともに、将来は南部小学校区全域での実施に繋げる

○平成24年度採択:H24～26(3か年) 全4団体

No.	地域	実施団体名	代表者名	事業名	主な活動内容
1	全域	地域再生道場	吉田 稔	湧々プロジェクト	有機農法による安全で健康に優しい作物の生産に取り組み、有機農法としての知名度を上げ、「農」と「食」を通じて健康維持への意識高揚と郷土への愛着を育むとともに、都市との交流事業を展開し、地域活性化に繋げる
2	平・上平	平・上平青年団	安達 孝彦	ふるさと情報発信・若者Uターン促進事業	平・上平地域の若い出身者へふるさと情報(就職情報など)を発信し、地元との繋がりがり絆を感じてもらい、地元での就職を促進することで、少子高齢化の抑制に努めるとともに、地域の活性化に繋げる
3	福光	煙硝の道広域研究会	新井 行雄	よみがえる「煙硝の道」プロジェクト	煙硝の生産、運搬、火薬製造(射撃)までを再現することを目標として、「体験」「学習」「交流」の3つのキーワードをもとに、広域的連携を図りながら環境整備と観光事業化調査を通じて地域の活性化を図る
4	福光	福光城址・栢園をひらく会	土生居 弘	「福光城址・栢園をみんなのものに」事業	福光城址・栢園の歴史と文化について調査し、今日まで地域の発展に寄与・貢献した人々を顕彰することで、地域への親しみを高めまちづくりへの一助とする

○平成24年度採択:H24(単年度) 全1団体

No.	地域	実施団体名	代表者名	事業名	主な活動内容
1	井波	七村郷Vセブン委員会	前川 哲郎	歌と踊りで繋ぐ「歴史、文化、環境保全」事業	不動滝の歴史・文化・環境を「不動滝名水音頭」として作成し、イベント等で歌い踊り継がれることで、地域の活性化に結びつける

○平成25年度採択:H25～27(3か年) 全2団体

No.	地域	実施団体名	代表者名	事業名	主な活動内容
1	全域	富山県東西地区公共交通再生研究会	安田 賢治	なんバス discover なんと 事業	市民と市を訪れる観光客のために、現在走っている「なんバス」を知悉してもいい、利用効率を上げる。 環状快速バスの実運行に際して、利用される仕掛けをして乗車効率をアップする。さらに、他のフィーダー線の整理統合を図る。
2	全域	南砺市小水力発電開発研究会	木本 裕二	豊富な水資源を活かした小水力発電の開発研究事業	小水力発電システムの改良、新規開発、実証実験及びデモンストレーションを実施するとともに、適地マップの作成、人材育成、普及促進活動を実施していく。 小水力発電を軌道にのせることで、地域経済の活性化、地域雇用の創出につながる。

○平成25年度採択:H25(単年度) 全3団体

No.	地域	実施団体名	代表者名	事業名	主な活動内容
1	井波	井波彫刻協同組合青年部	横山 丈樹	日々彫刻 ～井波彫刻師の日常～	井波彫刻師の日常を、富山市グランドプラザにて部員20名による集団実演というパフォーマンスで披露し、より多くの人々に井波彫刻を知ってもらい、身近に感じてもらう。この理解と興味により、次のステップである「実習に井波を訪れ雰囲気を感じてもらい」「井波彫刻のファンになってもらう」「作品を購入してもらい」に繋げていく。
2	城端	なんと里山なりわい塾	山瀬 悦朗	南砺の杉林活用プロジェクト ～自伐林業育成とエネルギー自給・地域内流通のしくみづくり～	南砺市は杉の人工林が多く、短期的な「他伐林業」になっている状況であり、長期的に杉林を維持・育成していく視点が欠如していることが課題であり、山を守る知識や技術を学び、次世代のために、エネルギー自給や雇用創出などのしくみづくりを行う。
3	井波	閑乗寺つつじの会	永田 幹夫	夕日・音楽のコラボレーション Chill out in karaji	閑乗寺開苑が始まってから60年、公園の開園から40年、この年に式典を開き記念行事を開催し、記念コンサートや60年の歩み資料展示をする。市民に「癒し」の場を提供し、閑乗寺の歴史を知ってもらうとともに、若者・県内外・海外からの観光客を取り込む。